



プロ野球ペナントレース 応援順位表&月間MVP

2016年4月度

集計：非公認団体 日本プロ野球応援協会

当協会が公式ツールとして認定・採用している一球速報のスマホアプリ「メガホン! (※)」にて、試合観戦時にチームや選手を応援するためのコメント投稿ボタンが1回タップされた（押された）回数を「応援ポイント」として換算・集計。プロ野球の各チームと選手がどれだけ応援されたかを測るペナントレースの応援順位表です。

セ・リーグ チーム応援順位表

集計期間：2016.3.25~4.30

	球団名	応援ポイント
1	広島東洋カープ	350,553
2	読売ジャイアンツ	347,385
3	東京ヤクルトスワローズ	178,303
4	横浜DeNAベイスターズ	168,299
5	中日ドラゴンズ	74,860
6	阪神タイガース	63,300

パ・リーグ チーム応援順位表

集計期間：2016.3.25~4.30

	球団名	応援ポイント
1	福岡ソフトバンクホークス	282,173
2	千葉ロッテマリーンズ	134,630
3	北海道日本ハムファイターズ	62,478
4	埼玉西武ライオンズ	27,771
5	東北楽天ゴールデンイーグルス	25,204
6	オリックス・バファローズ	22,138

セ・リーグ 選手別・4月度応援順位表

集計期間：2016.3.25~4.30

	選手名	球団	応援ポイント
MVP	菅野智之	巨人	36,781
2	野村祐輔	広島	31,613
3	ギャレット	巨人	25,821
4	立岡宗一郎	巨人	25,418
5	小林誠司	巨人	25,168
6	村田修一	巨人	24,529
7	菊池涼介	広島	23,830
8	ジョンソン	広島	20,541
9	クルーズ	巨人	19,560
10	石川雅規	ヤクルト	19,455

パ・リーグ 選手別・4月度応援順位表

集計期間：2016.3.25~4.30

	選手名	球団	応援ポイント
MVP	バンデンハーク	ソフトバンク	31,132
2	松田宣浩	ソフトバンク	23,168
3	中村晃	ソフトバンク	20,409
4	内川聖一	ソフトバンク	13,616
5	武田翔太	ソフトバンク	12,833
6	森 唯斗	ソフトバンク	11,368
7	角中勝也	ロッテ	9,386
8	田村龍弘	ロッテ	8,604
9	柳田悠岐	ソフトバンク	8,374
10	田中賢介	日本ハム	7,785

※「メガホン!」とは、試合観戦中にユーザー同士がコメントを投稿することでチームや船主を応援できる、応援バトル型の一球速報アプリです。<http://mega-hon.com/>



プロ野球ペナントレース応援順位表&月間MVP

今月の解説 (2016年4月度)

文：非公認団体 日本プロ野球応援協会

応援順位表でも好調な滑り出しの広島とロッテ

選手別では巨人とソフトバンクのエースが納得の応援MVP

まずはチーム別の応援ポイント順位表を見てみよう。広島とロッテは、チームの好調ぶりが応援ポイントにも反映されていると見て間違いない。一方、現時点ではヤクルトやD e N Aはファンの片思いといったところか。また、実際の順位でも応援ポイントでも下位に沈む、楽天&オリックスは5月以降、この“負のスパイラル”から抜け出せるかに注目だ。

続いては個人別ランキング。セパ合わせた全体のトップは、7試合投げて防御率0点台（5月7日時点）と驚異の活躍を見せる、巨人のエース・菅野智之。実際の月間MVPにも選ばれ納得の1位か。

リーグ別に見てみると、セはやはり巨人・広島勢が上位を独占。各チームごとの1位は、巨人：菅野、広島：野村佑、ヤクルト：石川、中日：高橋周、阪神：鳥谷、と各チーム主力が並んでいる。だが、D e N Aのトップはなぜかロマック（セリーグ全体の17位）。打率1割4厘（5月7日時点）と絶不調の助っ人に、ひたむきな応援+怒りの罵声が重なりポイントを伸ばしたものと推測される。また、セリーグ・打者部門で月間MVPに輝いた中日・ビシエドは、応援ランキングではセリーグ47位と低迷。中日の今シーズンの躍進はビシエド効果も大きいいため、5月以降、応援ランキングでも上位浮上が予想される。

パリーグの個人部門は、ソフトバンクとロッテ勢が上位にひしめいている。トップは連勝記録を伸ばす無敗の助っ人バンデンハーク。彼には話題となった美人妻・アナ夫人の応援もある。ダブルの応援パワーが快進撃を支えているのだろう。一方、彼を抑えて月間MVPに選ばれた涌井は、チームメイトがランキング上位に名を連ねる中、リーグ34位に沈んだ。ピンチを背負う機会が少なかったために応援が減ったのか、モテる男は応援が減ってしまうという宿命なのか、検証が待たれる。

全体的にパリーグは応援ポイントを集めるチームと下位との差が激しい。それは選手別ランキングを見ても顕著で、楽天1位の茂木はパリーグ全体の47位、オリックス1位の駿太は全体の49位…。まだペナントレースも応援ポイント集計も始まったばかり、これからの巻き返しに期待したい。

さて、ここでポジション別の応援ランキングを元に、3～4月の応援ベストナインを発表しよう。ピッチャーは菅野・野村・バンデンハークの3本柱となる。捕手は断トツで巨人・小林、次点には広島・石原が食い込んでいる。内野手のトップ4は、巨人・村田、広島・菊池、ソフトバンク・松田、巨人・クルーズ。外野手のトップ3はギャレット、立岡、ソフトバンク・中村晃。日本球界のベストナインに近い顔ぶれだが、どうしても応援ポイント下位のチームからは、個人成績が優秀でも選ばれない傾向にある。これが今後どう変わるのかにも注目したい。